

## 2 サムエル

1:1 サウルが死んだとき、ダビデはアマレク人を打ち破って帰って来ていた。その後ダビデは二日間、ツィクラグにとどまっていた。

打ち破って=◀ 5221. nakah (נָכַח) 501 回▶ 討ちかかる

ツィクラグ=◀ 6860. Tsiqelag ▶ (BB) winding 巻き戻しの意味

1:2 すると三日目に、見よ、一人の男がサウルのいた陣営からやって来た。衣は裂け、頭には土をかぶっていた。彼はダビデのところに来ると、地にひれ伏して礼をした。

ひれ伏し=◀ 5307. naphal (נָפַל) 435 回▶ Definition: to fall, lie ☆

礼をした=シャハー◀ 7812. shachah (שָׁחָה) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) prostrated himself (KJV) did obeisance (INT) prostrated (改4) 礼をした

1:8 私に『おまえはだれだ』と言いましたので、『私はアマレク人です』と答えますと、

@アマレク人)、(1サム15: )のアマレク人全滅命令から何十年かたって、罪の刈り取り

1:10 私は近寄って、あの方を殺しました。もう倒れて生き延びることができないと分かったからです。私は、頭にあった王冠と、腕に付いていた腕輪を取って、ここに、あなた様のところに持って参りました。」

あの方を殺しました」、嘘（1サム31:4）、証言したから（1:16）

1歴10:4） サウル、うつぶせに倒れた」

@アマレク人はダビデとサウルが敵対していると思って英雄を気取った

第2サムエル4:10 かつて私に『ご覧ください。サウルは死にました』と告げて、自分では良い知らせをもたらしたつもりでいた者を、私は捕らえて、ツィクラグで殺した。それが、その良い知らせへの報いであった。

1:15 ダビデは家来の一人を呼んで言った。「これに討ちかかれ。」彼がその若い者を討ったので、若い者は死んだ。

討ちかかれ= ◀ 6293.(נפג) paga 46 回 ▶ 打つ、攻撃する、達する、交渉する、仕向ける、とりなす (現)ヒット

頼む(Ge23:8)。着く (Ge28:11)。現れる(Ge32:1)。打つ(出5:3) (1列2:34)。会う(出5:20)(イザヤ64:5)。(アモス5:19)。出会う(Ex23:4)。達する(ヨシュア16:7、17:10、19:11)。

打ちかかる(士師8:21、15:12)。仕向ける(ルツ1:16)。いじめる(ルツ2:22)。

殺す(1サム22:17)。打ちかかる(1サム22:18)(2サム1:15)。討ち取る(1列2:25、2:29、2:31、2:46)。

祈り願う(ヨブ21:15)。撃つ(ヨブ36:32)。容赦する(イザヤ47:3)。負わせる(イザヤ53:6)。

とりなす(イザヤ53:12)。(エレミヤ7:16、15:11、27:18)。懇願する(エレミヤ36:25)。

討った＝◀ 5221. nakah (נָקַח) 501 回 ▶ 討ちかかる

1:18 これはユダの子らに[弓]を教えるためのもので、『ヤシャルの書』にまさしく記されている。

弓]、＝戦いを意味する

1:19 「イスラエルよ、君主はおまえの高き所で殺された。ああ、勇士たちは倒れた。

君主＝◀ 6643. Tsbay (תִּבְיָ) 32 回 ▶ 美しさ、ほまれ、カモシカ、君主(2サム 1:19)

(改2) 誉れ

リーダーは主からの賜物、それは美しい

1:20 これをガテに告げるな。アシュケロンの通りに告げ知らせるな。ペリシテ人の娘らを喜ばせないために。無割礼の者の娘らが喜び躍ることがないために。

ガテで告げるな (ミカ 1 : 10)

未信者にゴシップを伝えるな

1:21 ギルボアの山よ。高原の野よ。おまえたちの上に、露は降りるな。雨も降るな。そこでは勇士たちの盾が汚され、サウルの盾に油も塗られなかったからだ。

1 : 21 露よ下りるな」＝《RV》栄えるな

2:4 ユダの人々がやって来て、そこでダビデに油を注ぎ、ユダの家の王とした。

ヤベシュ・ギルアデの人々がサウルを葬ったことが、ダビデに知らされたとき、

ユダの家の王とした＝ まずはユダの家。召しに段階がある。

最初の召命は（1サム16：13）

イスラエルの王となる（2サム5：3）

2:10 サウルの子イシュ・ボシェテは、四十歳でイスラエルの王となり、二年間、王であった。しかし、ユダの家だけはダビデに従った。

2:12 ネルの子アブネルは、サウルの子イシュ・ボシェテの家来たちと一緒にマハナムを出て、ギブオンへ向かった。

3:14 ダビデはサウルの子イシュ・ボシェテに使者を遣わして言った。「私がペリシテ人の陽の皮百をもってめとった、私の妻ミカルを返していただきたい。」

@陽の皮百＝ダビデのへりくんだり＝本当は2百だった

第1サム 18:27 ダビデは立って、部下と出て行き、ペリシテ人二百人を討って、その陽の皮を持ち帰った。こうしてダビデは、王の婿になるために、王に対して約束を果たした。サウルは娘ミカルを妻としてダビデに与えた。

3:15 イシュ・ボシェテは人を遣わして、彼女をその夫、ライシュの子パルティエルから取り返した。

3:16 彼女の夫は泣きながら彼女の後を追ってバフリムまで来たが、アブネルが「行け。帰れ」と言ったので、彼は帰った。

@夫パルティエルはミカルを愛していた。

ダビデはタマルを愛していたのではなく、男の意地で取り

返したふしがある。

3:37 民はみな、そして全イスラエルは、その日、ネルの子アブネルを殺したのは、王から出たことではないことを知った。

4:4 さて、サウルの子ヨナタンに、足の不自由な息子が一人いた。その子が五歳のときのこと、サウルとヨナタンの悲報がイズレエルからもたらされ、彼の乳母は彼を抱いて逃げた。そのとき、あまりに急いで逃げたので、彼を落としてしまった。そのために足の萎えた者になったのであった。彼の名はメフィボシェテといった。

乳母 Nurse= ◀ 539. aman (אָמַן) 108 回 ▶ 信じる、確かにする、(ヘブライ語で信じるを意味する一般的な言葉)

確かな(1サム 2:35)(詩 89:28)、堅く建てる(1サム 3:20)(2サム 7:16)(1王 8:26)

ほんとうだということがわかる(Ge42:20)

忠実な(民 12:7)、長く続く(申 28:59)、

養い育てる(ルツ 4:16)、養育する(エステル 2:7)

乳母(nurse)の語源(2サム 4:4)、わきに抱かれて(イザヤ 60:4)

おぼつく(申 28:66)、当てにする(エレ 15:18)

4 : 7 - 10 節) 人間的な力で敵を倒す愚かさ

4:10 かつて私に『ご覧ください。サウルは死にました』と告げて、自分では良い知らせをもたらしたつもりでいた者を、私は捕らえて、ツィクラグで殺した。それが、その良い知らせへの報いであった。

@ダビデとサウルが敵対していると思って英雄を気取ったアマレク人の事を引用 (1 : 10

ツイクラグ=winding 巻き戻しの意味

5:3 イスラエルの全長老はヘブロンの王のもとに来た。ダビデ王はヘブロンで、  
【主】の御前に彼らと契約を結び、彼らはダビデに油を注いでイスラエルの王  
とした。

5:6 王とその部下は、エルサレムに、その地の住民エブス人のところに行った。すると彼らはダビデに言った。「おまえは、ここに攻めて来ることなどできない。目の見えない者どもや足の萎えた者どもでさえも、おまえを追い出せる。」彼らは「ダビデがここに攻めて来ることはできない」と考えていたのである。

@エルサレムはエブス人の住まいであった。

@エルサレム＝（複数形）。複数形の名前を持つ街は世界でエルサレムだけ。

天にあるエルサレムと地上にあるエルサレム。

[http://www.zion-jpn.or.jp/israel\\_culture06.html](http://www.zion-jpn.or.jp/israel_culture06.html)

エルサレムという名前はエル (יְרוּשָׁלַיִם) とサレム (שָׁלוֹם) の2つに分けることが出来ます。エルは町や礎を、そしてサレムは(カナンびとの神シャリムを起源にはしていますが) 平和を意味しており、一般的には「平和の町」や「平和の礎」を意味していると考えられています。

[https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question\\_detail/q10190356240?\\_\\_yosp=44K3440j440q440gIOOCqOODq%2BOCteODrOODoA%3D%3D](https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q10190356240?__yosp=44K3440j440q440gIOOCqOODq%2BOCteODrOODoA%3D%3D)

この町は、イスラエル人がカナン地方に定住する前、紀元前 14 世紀には名前が確認できる。楔形文字で URU.urushalim.KI のように書かれているのだけど、URU というのは「町」を意味する表語文字、KI は「地」を意味する

表語文字だから「ウルシャリムの町／地」。

もしかすると、urushalim の先頭の uru- も、もともとは「町」の意味だったかもしれない。だとすると「シャリムの町」かもしれない。シャリムはカナン地方の明けの明星の神格だ。

だとしても、語頭が「uru-」から「yir-」に変化した理由はよく分からない。民間語源はしばしばヘブライ語のイール「町」に結びつけるが、そちらは `ir というまったく別の発音であり、実際にはありえそうにない。

5:11 ツロの王ヒラムは、ダビデのもとに使者と、杉材、木工、石工を送った。彼らはダビデのために王宮を建てた。

@異邦人がイスラエル人に仕える時に、5:12 にあるように「ダビデは主が彼を王としたのを知った。」

@異邦人がユダヤ人に自分が何ものかについての悟りを与える。

5:12 ダビデは、【主】が自分をイスラエルの王として堅く立て、主の民イスラエルのために、自分の王国を高めてくださったことを知った。

@主御自身が王国を立てている事を知る

@多くの指導者は国さえ治めていればいいと思うが、しかし主を第一とする事が大切

第1 歴代誌 29:12 富と誉れは御前から出ます。あなたはすべてのものを支配しておられます。あなたの御手には勢いと力があり、あなたの御手によって、すべてのものが偉大にされ、力づけられるのです。

5:24 バルサム樹の茂みの上で行進の音が聞こえたら、そのとき、あなたは攻め上れ。そのとき【主】はすでに、ペリシテ人の陣営を討つために、あなたより先に出ているからだ。」

6:1 ダビデは再びイスラエルの精鋭三万をことごとく集めた。

@（1歴15：1ー）にも同じ出来事を記述

6:2 ダビデはユダのバアラから神の箱を運び上げようとして、自分とともにいたすべての兵と一緒に出かけた。神の箱は、ケルビムの上に座しておられる万軍の【主】の名でその名を呼ばれている。

6:3 彼らは、神の箱を新しい荷車に載せて、それを丘の上にあるアビナダブの家から移した。アビナダブの子、ウザとアフヨがその新しい荷車を御した。

荷車に載せて= @人間的には素晴らしく見えても御心にそぐわなかった

民数記 7:9 しかしケハテ族には何も与えなかった。彼らの聖なるものに関わる奉仕は、肩に担いで運ぶことだったからである。

第1歴代誌 15:2 そのとき、ダビデは言った。「レビ人でなければ、神の箱を担いではならない。【主】は、【主】の箱を担がせ、とこしえまでもご自分に仕えさせようと、彼らを選ばれたからである。」

15:13 最初の時には、あなたがたがいなかったため、私たちの神、【主】は私たちに怒りを発せられた。定めにしたがって、私たちが主を求めなかったからだ。」



アビナダブ=私の父は高貴である。Or 私の父は喜んでする(my father is willing)

6:5 ダビデとイスラエルの全家は、(@挿入する

@**豎琴**、**琴**、タンバリン、カスタネット、シンバルを鳴らし、【主】の前で、すべての杉の木の枝をもって、喜び踊った。

@このときダビデは心から喜び踊った=しかしこれは肉による喜びであった。

@原語では「木で作られたすべての～」を楽器の紹介の前に挿入する

琴=◀ 5035. nebel 38 回▶皮、皮袋(水筒)=翻訳は、皮袋、琴、壺

@ (共) 6:5 ダビデとイスラエルの家は皆、主の御前で糸杉の楽器、豎琴、琴、太鼓、鈴、シンバルを奏でた。……\*新共同訳には「主の前で、力の限り喜び踊った。」という言葉が無い。

喜び踊った=(この記述は原語に無い)。(改2)はもっとひどく「主の前で、力の限り喜び踊った」となっている。

6:7 すると、【主】の怒りがウザに向かって燃え上がり、神はその過ちのために、彼をその場で打たれた。彼はそこで、神の箱の傍らで**死んだ**。

@自分が聖霊に満たされていると思っていたがそうでない事を知ったときのショックは大きい。

@ (6 : 8) ダビデの心は激した。

ウザ=「力」という意味

6:8 ダビデの心は激した。【主】がウザに対して怒りを発せられたからである。  
その場所は今日までペレッツ・ウザと呼ばれている。

激した = ◀ 2734. charah (חָרָה) 90 回 ▶ 燃やす、怒る  
(共) 怒った。

@ (共) 6:8 ダビデも怒った。主がウザを打ち砕かれたためである。  
その場所をペレッツ・ウザ (ウザを砕く) と呼んで今日に至っている。

@新共同訳ではわざわざ括弧をつけて、「砕く」という意味を書いている

怒りを発せられた = (へ) 破る、裂くを破裂させた

6:11 【主】の箱はガテ人オベデ・エドムの家に三か月とどまった。【主】はオベデ・エドムと彼の全家を祝福された。

祝福する = バラク ◀ 1288. (בָּרַךְ) barak 330 回 ▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)

@主の臨在は祝福をもたらす

6:12 「【主】が神の箱のことで、オベデ・エドムの家と彼に属するすべてのものを祝福された」という知らせがダビデ王にあった。ダビデは行って、喜びをもって神の箱をオベデ・エドムの家からダビデの町へ運び上げた。

祝福する = バラク ◀ 1288. (בָּרַךְ) barak 330 回 ▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)

@ ダビデの祝福に対する食欲さ

6:13 【主】の箱を担ぐ者たちが六歩進んだとき、ダビデは、肥えた牛をいけにえとして献げた。

6:16 【主】の箱がダビデの町に入ろうとしていたとき、サウルの娘ミカルは窓から見下ろしていた。彼女はダビデ王が【主】の前で跳ねたり踊ったりしているのを見て、心の中で彼を蔑んだ。

6:20 ダビデが自分の家族を祝福しようと戻ると、サウルの娘ミカルがダビデを迎えに出て来て言った。「イスラエルの王は、今日、本当に威厳がございましたね。ごろつきが恥ずかしげもなく裸になるように、今日、あなたは自分の家来の女奴隷の目の前で裸になられて。」

祝福する＝バラク◀ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)

6:23 サウルの娘ミカルには、死ぬまで子がなかった。

@ (1) 不妊 (2) ダビデと関係を持たなかった。

7:2 王は預言者ナタンに言った。「見なさい。この私が杉材の家に住んでいるのに、神の箱は天幕の中に宿っている。」

7:3 ナタンは王に言った。「さあ、あなたの心にあることをみな行いなさい。【主】があなたとともにおられるのですから。」

心＝◀ 3824. lebab (לֵבָב) 252 回▶ 内なる人、意思、心

勇氣＝◀ 3820.(לֵב) leb 593 回▶ 内なる人、意思、思い、心

◀ 3823. labab (לָבַב) 5回▶(V)力を受ける、励まされる、ケーキを作る(2サム 13:6)、心を～する(雅歌 4:9)

ヨブ 11:12 無知な人間も賢くなるだろう。野ろばの子が人として生まれるのなら。

@このセリフを言ったときにはすでにダビデは準備をしていた、確信があったからである。しかし実際には建てる事は出来なかった。だからといって彼は御心を聞き間違えたわけではない。主は時を定めている。

7:3 ナタンは王に言った。「さあ、あなたの心にあることをみな行いなさい。  
【主】があなたとともにおられるのですから。」

みな行いなさい=預言者はいつも預言するわけではない

(2列4:27) 主はそれを私に隠され、まだ、私に知らせておられないのだ。」

7:12 あなたの日数が満ち、あなたが先祖とともに眠りにつくとき、わたしは、あなたの身から出る世継ぎの子をあなたの後に起こし、彼の王国を確立させる。

@彼の王国を確立される」=キリストの900年前

7:13 彼はわたしの名のために一つの家を建て、わたしは彼の王国の王座をとこしえまでも堅く立てる。

7:16 あなたの家とあなたの王国は、あなたの前にとこしえまでも確かなものとなり、あなたの王座はとこしえまでも堅く立つ。』

堅く立つ= ◀ 539. aman 108 回 ▶ 信じる、確かにする、(ヘブライ語で信じるを意味する一般的な言葉)

確かな(1サム 2:35)(詩 89:28)、堅く建てる(1サム 3:20)(2サム 7:16)(1王 8:26)

ほんとうだということがわかる(Ge42:20)

忠実な(民 12:7)、長く続く(申 28:59)、

養い育てる(ルツ 4:16)、養育する(エステル 2:7)

乳母(nurse)の語源 (2サム 4:4)、わきに抱かれて(イザヤ 60:4)

おぼつく(申 28:66)、当てにする(エレ 15:18)

7:27 イスラエルの神、万軍の【主】よ。あなたはこのしもべの耳を開き、『わたしがあなたのために一つの家を建てる』と言われました。それゆえ、このしもべは、この祈りをあなたに祈る勇氣を得たのです。

祈り = ◀ 8605. tephillah (תְּפִלָּה) 77 回 ▶ (N)祈り

祈る = ◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回 ▶ (V)干渉する、とりなしする、祈る

勇氣 = ◀ 3820.(לֵב) leb 593 回 ▶ 内なる人、意思、思い、心、勇氣

(参考) ◀ 3824. lebab (לֵבָב) 252 回 ▶ (N) 内なる人、意思、心

(参考) ◀ 3823. labab (לָבַב) 5 回 ▶ (V)力を受ける、励まされる、  
ケーキを作る(2サム 13:6)、心を  
～する(雅歌 4:9)

ヨブ 11:12 無知な人間も賢くなるだろう。野ろばの子が人として生まれるのなら。

7:29 今、どうか、あなたのしもべの家を**祝福して**、御前にとこしえに続くようにしてください。【神】である主よ、あなたがお語りになったからです。あなたの祝福によって、あなたのしもべの家がとこしえに祝福されますように。」祝福する＝バラク◀ 1288. (גָּבַר)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)

8:4 ダビデは、彼から騎兵千七百、歩兵二万を取った。ダビデは、そのすべての戦車の**馬の足の筋を切った**。ただし、そのうち戦車百台分の馬は残した。

(申 17 : 16) 自分のために決して馬を多くふやしてはならない。

8:10 トイは、息子ヨラムをダビデ王のもとに遣わし、安否を尋ね、ダビデがハダドエゼルと戦ってこれを打ち破ったことについて、**祝福のことばを述べた**。ハダドエゼルがトイにしばしば戦いを挑んでいたからである。ヨラムは銀の器、金の器、青銅の器を携えていた。

祝福のことばを述べた＝バラク◀ 1288. (גָּבַר)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

9:6 サウルの子ヨナタンの子メフィボシエテは、ダビデのところに来て、**ひれ伏して礼をした**。ダビデは言った。「メフィボシエテか。」彼は言った。「はい、あなた様のしもべです。」

ひれ伏し＝◀ 5307. naphal (נָפַל) 435 回▶ Definition: to fall, lie ☆

礼をした＝シャハー◀ 7812. shachah (שָׁחָה) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) prostrated himself (KJV) did reverence (INT) prostrated (改 4)  
礼をした

9:8 彼は**礼をして**言った。「いったい、このしもべは何なのでしょうか。あなた様が、この死んだ犬のような私を顧みてくださるとは。」

礼をして＝シャハー◀ 7812. shachah (נחש) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) prostrated himself (KJV) bowed himself (INT) prostrated (改4) 礼をして

10:1 この後、アンモン人の王が死に、その子ハヌンが代わって王となった。  
10:2 ダビデは、「ナハシュの子ハヌンに真実を尽くそう。彼の父が私に真実を尽くしてくれたように」と言った。そして家来たちを通して彼の父の悔やみを言うために、ダビデは彼らを遣わした。ダビデの家来たちがアンモン人の地に着いたとき、

@ダビデの母はアモンの王(異邦人)ナハシュと血縁という説があるが根拠はない

IIサム 17:25 アブサロムはアマサをヨアブの代わりに軍団長に任命していた。アマサは、アスリエル人イテラという人の息子で、イテラは、ヨアブの母ツェルヤの妹ナハシュの娘アビガルと結婚していた。

詩篇 51:5 ご覧ください。私は咎ある者として生まれ罪ある者として母は私を身ごもりました。

10:9 **ヨアブ**は、自分の前とうしろに戦いの前線があるのを見て、イスラエルの精鋭全員からさらに兵を選び、アラム人に立ち向かう陣備えをし

ヨアブ」、＝ダビデの将

(יֹאָב) Joab = "Jehovah is father"

11:1 年が改まり、王たちが出陣する時期になった。ダビデは、ヨアブと自分の家来たちとイスラエル全軍を送った。彼らはアンモン人を打ち負かし、ラバ

を包囲した。しかし、ダビデはエルサレムにとどまっていた。

11:2 ある夕暮れ時、ダビデが床から起き上がり、王宮の屋上を歩いていると、一人の女が、からだを洗っているのが屋上から見えた。その女は非常に美しかった。

戦いの場にはいないときに罪が起こる

@聖書の中に女性に気をつけるように再三かかれてある。

最も強い人、サムソンも最も知恵があったソロモンも最も霊的であったダビデも女性で倒れたからである

@ダビデにとって唯一の罪

箴 7:26 この女は多くの者を切り倒し、殺された者は数えきれない。

1列王 15:5 それは、ダビデが【主】の目にかなうことを行い、ヒッタイト人ウリヤのことのほかは、一生の間、主が命じられたすべてのことからそれなかったからである。

11:3 ダビデは人を送ってその女について調べさせたところ、「あれはヒッタイト人ウリヤの妻で、エリアムの娘バテ・シェバです」との報告を受けた。

調べさせた=王としてこれ自体はありえる (罪ではない)

エリアム=サム 23:34 マアカ人アハスパイの子エリフェレテ。ギロ人アヒトフェルの子エリアム。

@調べた」、王としてこれ自体はありえる (罪ではない)

@エリアム

第2サムエル 23:34 マアカ人アハスパイの子エリフェレテ。ギロ人アヒトフ



エルの子 **エリナム**。

11:11 ウリヤはダビデに言った。「神の箱も、イスラエルも、ユダも **仮庵**に住み、私の主人ヨアブも、私の主人の家来たちも戦場で野営しています。それなのに、私が家に帰り、食べたり飲んだりして、妻と寝るということができるでしょうか。あなたの前に、あなたのたましいの前に誓います。私は決してそのようなことをいたしません。」

仮庵 = ◀ 5521. sukkah 31 回 ▶ 仮庵

(神の箱が入っているテント・ただし、イスラエル、ユダの困窮と同列の表現なので、みずぼらしさを強調するための言葉)

幕屋(mishkan)という意味で用いられたことは一度もない

**(Ge33:17)小屋**、(レビ 23:34)仮庵(の祭り)、(レビ 23:42)仮庵、(レビ 23:42)仮庵、(レビ 23:43)仮庵、(申 16:13)仮庵(の祭り)、(申 16:16)仮庵(の祭り)、(申 31:10)仮庵(の祭り)、**(2サムエル 11:11)仮庵**(神の箱が入っているテント・ただし、イスラエル、ユダの困窮と同列の表現なので、みずぼらしさを強調するための言葉)、**(2サム 22:12)仮庵**(闇が覆うという意味、(KJV)は pavilion)、**(1列王 20:12)仮小屋**、**(1列王 20:16)仮小屋**、**(2歴 8:12)仮庵(の祭り)**、**(エズラ 3:4) 仮 庵 ( の 祭 り )**、**(ネヘミヤ 8:14,15,16,17,17) 仮 庵.(NAS)(KJV)(INT)booths**、**(ヨブ 27:18) 仮 小 屋**、**(ヨブ 36:29) 幕 屋**(雷雨を表現)(NAS)pavilion(KJV)tabernacle(INT)booth、**(ヨブ 38:40)茂み**、**(詩編 18:11)仮庵**(雨雲 (KJV)は pavilion)、**(詩編 31:20)隠れ場**、**(イザヤ 1:8)小屋(ぶどう畑)**、**(イザヤ 4:6)仮庵(NAS)shelter(KJV)tabernacle(INT)shelter**、**(アモス 9:11) 仮 庵(NAS)booth(KJV)tabernacle(INT) booth**、**(ヨナ 4 : 5)仮小屋**、**(ゼカリヤ 14:16) 仮 庵(の 祭 り)**、**(ゼカリヤ 14:18) 仮 庵(の 祭 り)**、**(ゼカリヤ 14:19) 仮 庵(の 祭 り)**

12:11 【主】はこう言われる。『見よ、わたしはあなたの家の中から、あなたの上にわざわいを引き起こす。あなたの妻たちをあなたの目の前で奪い取り、あなたの隣人に与える。彼は、**白昼公然と**、あなたの妻たちと寝るようになる。

白昼公然と＝第2サムエルⅡサム 16:22 アブサロムのために屋上に天幕が張られ、アブサロムは全イスラエルの目の前で、父の側女たちのところに入った。

12:14 しかし、あなたはこのことによって、【主】の敵に大いに侮りの心を起こさせたので、あなたに生まれる息子は必ず死ぬ。」

12:16 ダビデはその子のために神に願い求めた。ダビデは断食をして引きこもり、一晩中、地に伏していた。

ダビデはその子のために神に願い求め、断食をして、引きこもり、一晩中、地に伏していた。

12:20 ダビデは地から起き上がり、からだを洗って身に油を塗り、衣を替えて**【主】の家**に入り、礼拝をした。そして自分の家に帰り、食事の用意をさせて食事をとった。

【主】の家＝(改2)、主の宮 (בֵּית־יְהוָה)

@この箇所は (改4) では「主の家」 (בֵּית־יְהוָה)

礼拝をして＝シャハー◀ 7812. shachah (שָׁחָה) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) (KJV) (INT)\* worship (改4) 礼拝をして ★

12:22 ダビデは言った。「あの子がまだ生きているときに私が断食をして泣いたのは、もしかすると【主】が私をあわれんでくださり、あの子が生きるかもしれない、と思ったからだ。

@死んだものに対してわれわれは何も出来ない

13:1 その後のことである。ダビデの子アブサロムに、タマルという名の美しい妹がいた。ダビデの子アムノンは彼女に恋をした。

@恋する = ◀ 157. Aheb(אהב) 209回 ▶ 愛する。英語と同じでヘブライ語に愛と恋の違いは無い

@ (共) 13:1 、ダビデの子アムノンはタマルを愛していた。

@恋する者の状態

- 1、苦しむ (13 : 2) 苦しんで
- 2、わずらう (13 : 2) わずらうようになった。
- 3、やつれる (13 : 4) 「なぜ朝ごとにやつれるのか」 食欲が無くなる、  
=優先順位を失う

1、神 2、自分

- 4、うそを正当化する (13 : 5) 仮病を使いなさい
- 5、乱暴 (13 : 12) 兄上、乱暴をしてはいけません。
- 6、自己中心
- 7、愚か (13 : 12) こんな愚かなことをしないでください。
- 8、憎しみ (13 : 15) アムノンはひどい憎しみにかられて。
- 9、嫌う

@死んでもいいから手に入れたい、=好色&偶像礼拝

聖書の中の恋に関する場所は偶像礼拝に関連している (ただし原語が「恋」とは限らない。

(創4:7) 罪があなたを恋い慕う ◀ 8669. Teshuqah (תִּשְׁׁוּקָה) 3回▶ 求める、恋い慕う

(創34:8) ハモルの子の事件 恋い慕う = ◀2836. Chashaq(חָשַׁק)(ハシヤク) 11回▶ 慕う

創世記 34:8 ハモルは彼らに語りかけた。「私の息子シェケムは、心からあなたがたの娘さんを恋い慕っています。どうか娘さんを息子の嫁にしてください。

エレミヤ 4:30 踏みにじられた女よ、あなたはいったい何をしているのか。緋の衣をまとい、金の飾りで身を飾りたて、目を塗って大きく見せたりして。美しく見せても無駄だ。恋人たちはあなたを嫌い、あなたのいのちを取ろうとしている。

エレミヤ 22:20 「レバノンに上って叫び、バシヤンで声をあげ、アバリムから叫べ。あなたの恋人たちがみな、砕かれたからだ。

エゼキエル 16:37 それゆえ、見よ。わたしは今、あなたが戯れたすべての愛人たちや、あなたが恋した者や、憎んだ者をすべて寄せ集め、彼らを四方から集めて、あなたの裸を彼らにさらけ出す。彼らは丸裸のあなたを見る。

エゼキエル 23:5 オホラは、わたしのものであったのに、姦通し、その愛人アッシリアに、青い衣を着た軍人たちに欲情を抱いた。23:6 彼らは総督や長官で、すべて若く魅惑的な男たちであり、馬に乗る騎兵であった。

エゼキエル 23:11 妹のオホリバはこれを見たが、姉よりいっそう恋情を募らせ、その淫行は姉の淫行よりひどかった。23:12 彼女は隣のアッシリア人の総督や長官に欲情を抱いた。彼らはみな完全に武装した、馬に乗る騎兵であり、若く魅惑的な男たちであった。

エゼキエル 3:18 わたしが、悪い者に『あなたは必ず死ぬ』と言うとき、もしあなたが彼に警告を与えず、悪い者に悪の道から離れて生きるように警告しないなら、その悪い者は自分の不義のゆえに死ぬ。そして、わたしは彼の血の責任をあなたに問う。

ホセア 3:18 わたしが、悪い者に『あなたは必ず死ぬ』と言うとき、もしあなたが彼に警告を与えず、悪い者に悪の道から離れて生きるように警告しないなら、その悪い者は自分の不義のゆえに死ぬ。そして、わたしは彼の血の責任をあなたに問う。

@聖書の中で恋しなさいとは一度も書いていない but 愛し合いなさい。  
@愛はこれらとは反対（1 コリ 13：4）13:4 愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。

13:3 アムノンには、ダビデの兄弟シムアの息子でヨナダブという名の友人がいた。ヨナダブは非常に知恵のある男であった。（改 4）

知恵のある = ◀ 2450. chakam ▶ 知恵のある、（改 2）悪賢い  
（創世記 41:8）（箴言 1:5） 知恵のある者

13:22 アブサロムはアムノンに、このことが良いとも悪いとも何も言わなかった。アブサロムは、アムノンが妹タマルを辱めたことで、彼を憎んでいたからである。

@何も言わなかった」 = 憎しみは心の中で熟成される

13:25 王はアブサロムに言った。「いや、わが子よ。われわれ全員が行くのは良くない。あなたの重荷になってもいけないから。」アブサロムは、しきりに勧めたが、ダビデは行きたがらず、ただ彼に祝福を与えた。

祝福する=バラク◀ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

13:28 アブサロムは、自分に仕える若い者たちに命じて言った。「よく注意して、アムノンが酔って上機嫌になったとき、私が『アムノンを討て』と言ったら、彼を殺せ。恐れてはならない。この私が命じるのではないか。強くあれ。力ある者となれ。」

@表向きは、復讐だが、王位継承権第一位のアムノムを殺すことによって、第三位のアブシャロムは王位に近づこうとする魂胆があった。

13:30 彼らがまだ道の途中にいたとき、ダビデのところに、「アブサロムは王のご息たちを全員殺しました。残された方は一人もいらっしゃいません」という知らせが届いた。

@人の言うことを信じてはならない

14:4 テコアの女は、王に話したとき、地にひれ伏して礼をして言った。「お救いください。王様。」

ひれ伏し=◀ 5307. naphal (נפל) 435 回▶ Definition: to fall, lie ☆

礼をして=シャハー◀ 7812. shachah (שחה) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) prostrated herself (KJV) did obeisance (INT) prostrated (改 4)  
礼をして

14:7 すると、お聞きください、親族全体がこのはしのために詰め寄って、『兄弟を打った者を引き渡せ。彼が殺した兄弟のいのちのために、彼を殺し、この家の世継ぎも消し去ろう』と言います。残された私の一つの火種を消して、夫の名だけではなく、残りの者までも、この地に残さないようにするのです。」

@合法的な土地の横領

IIサム 14:22 ヨアブは地にひれ伏して礼をし、王に祝福のことばを述べて言った。「今日、このしもべがご好意を受けていることが分かりました。王様。王が、このしもべの願いを聞き入れてくださったのですから。」

祝福の言葉を述べる=バラク◀ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316 回 (英)の内 74 回ほめる(改 4)。

ひれ伏し=◀ 5307. naphal (נפל) 435 回▶ Definition: to fall, lie ☆

礼をし=シャハー◀ 7812. shachah (שחח) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) prostrated himself (KJV) bowed himself (INT) prostrated (改 4)  
礼をし

14:24 王は言った。「あれは自分の家に行ってもらおう。私の顔を見ることはならぬ。」アブサロムは自分の家に行き、王の顔を見ることはなかった。

@拒絶

IIサム 14:25 さて、イスラエルのどこにも、アブサロムほど、その美しさをほめそやされた者はいなかった。足の裏から頭の頂まで、彼には非の打ちどころがなかった。

ほめそやされた=ハラル◀ 1984. halal (הלל)165 回▶(源)輝く (訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

14:33 ヨアブは王のところに行き、王に告げた。王はアブサロムを呼び寄せた。アブサロムは王のところに来て、王の前で地にひれ伏して礼をした。王はアブサロムに口づけした。

ひれ伏して礼をした＝シャハー◀7812. shachah (ננש) (172回) ▶ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) prostrated himself (KJV) bowed himself (INT) prostrated (改4) ひれ伏して礼をした

15:3 アブサロムは彼に、「聞きなさい。あなたの訴えは良いし、正しい。だが、王の側にはあなたのことを聞いてくれる者はいない」と言っていた。

聞いてくれる者はいない＝偽り

15:4 さらにアブサロムは、「だれか私をこの国のさばき人に立ててくれないだろうか。訴えや申し立てのある人がみな、私のところに来て、私とその訴えを正しくさばくのだが」と言っていた。

＝自己召命

15:5 人が彼に近づいてひれ伏そうとすると、彼は手を伸ばし、その人を抱いて口づけしていた。

ひれ伏そうとすると＝シャハー◀7812. shachah (ננש) (172回) ▶ひざまづく、礼拝する、礼をする ★

(NAS) prostrate herself (KJV) do him obeisance (改2) あいさつしようと

その人を抱いて＝人にとりいる行為

15:6 アブサロムは、さばきのために王のところに行って来る、すべてのイスラエルの人にこのようにした。アブサロムはイスラエルの人々の心を盗んだ。



15:7 四年たって、アブサロムは王に言った。「私が【主】に立てた誓願を果たすために、どうか私をヘブロンに行かせてください。

@四年たって」＝この状態を四年間ほうっていた。

15:12 アブサロムは、いけにえを献げている間に、人を遣わして、ダビデの助言者ギロ人アヒトフェルを、彼の町ギロから呼び寄せた。この謀反は強く、アブサロムにくみする民が多くなった。

15:14 ダビデは、自分とともにエルサレムにいる家来全員に言った。「さあ、逃げよう。そうでないと、アブサロムから逃れる者はいなくなるだろう。すぐ出発しよう。彼がすばやく追いついて、私たちに害を加え、剣の刃でこの都を討つといけなから。」

15:15 王の家来たちは王に言った。「ご覧ください。私たち、あなたのしもべどもは、王様の選ばれるままにいたします。」

あなたのしもべどもは、王様の選ばれるままにいたします。＝状況を吟味しない盲従

3 勇士はどこ

へ行ったのか？

15:21 イタイは王に答えて言った。「【主】は生きておられます。そして、王様も生きておられます。王様がおられるところに、生きるためでも死ぬためでも、このしもべも必ずそこにいます。」

15:22 ダビデはイタイに言った。「では、進んで行きなさい。」ガテ人イタイは、彼の部下全員と、一緒にいた子どもたち全員を連れて、進んで行った。

@イタイの忠誠

15:25 王はツアドクに言った。「神の箱を都に戻しなさい。もし私が【主】の恵みをいただくことができれば、主は、私を連れ戻し、神の箱とその住まいを見させてくださるだろう。

@あっさり＝武士道

15:32 ダビデが、神を<sup>礼拝する</sup>場所になっていた山の頂に来たとき、見よ、アルキ人フシャイが上着を引き裂き、頭に土をかぶってダビデに会いに来た。礼拝する＝シャハー◀ 7812. shachah (נחש) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) (KJV) (INT)\* worship (改4)礼拝する ★

16 : 5 シムイののろいの言葉

16:4 王はツイバに言った。「見よ、メフィボシェテのものはみな、あなたのものだ。」ツイバは言った。「王様。あなた様のご好意をいただくことができますように、<sup>伏してお願い</sup>いたします。」

伏して(お願い)＝シャハー◀ 7812. shachah (נחש) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) prostrate myself (KJV) humbly beseech (INT) prostrate (改4) 伏して(お願い)

16:5 ダビデ王がバフリムまで来ると、見よ、サウルの家の一族の一人が、そこから出て来た。その名はゲラの子シムイで、盛んに呪いのことばを吐きながら出て来た。

16:6 彼は、ダビデとダビデ王のすべての家来たちに向かって石を投げつけた。兵たちと勇士たちはみな、王の右左にいた。

@ 「王の右左にいた」 = 苦しいときに主人に忠誠である

16:12 おそらく、【主】は私の心をご覧になるだろう。そして【主】は今日の彼の呪いに代えて、私に良いことをもって報いてくださるだろう。」

@一見信仰的な言葉に聞こえるが、責めによってあきらめてしまっている。

16:22 アブサロムのために屋上に天幕が張られ、アブサロムは全イスラエルの目の前で、父の側女たちのところに入った。

第2サムエル 12:11 【主】はこう言われる。『見よ、わたしはあなたの家の中から、あなたの上にわざわいを引き起こす。あなたの妻たちをあなたの目の前で奪い取り、あなたの隣人に与える。彼は、白昼公然と、あなたの妻たちと寝るようになる。』

16:23 当時、アヒトフェルの進言する助言は、人が神のことばを伺って得ることばのようであった。アヒトフェルの助言はすべて、ダビデにもアブサロムにもそのように思われた。

。

@神の言葉、のようであった」 = どのような霊的な人でも信用してはならない

アヒトフェル=(BLB) Ahithophel = "my brother is foolish (folly)"

17:23 アヒトフェルは、自分の助言が実行されないのを見ると、ろばに鞍を置いて自分の町の家に戻り、家を整理して首をくくって死んだ。彼は彼の父の墓に葬られた。

@首をくくって死に」 = 自分の計画、仕事が人生の全てである人の結末

18:9 アブサロムはダビデの家来たちに出会った。アブサロムはらばに乗っていたが、らばが大きな櫪の木の、茂った枝の下を通った。すると、アブサロムの頭が櫪の木に引っ掛かり、彼は宙づりになった。彼が乗っていたらばはそのまま行ってしまった。

@木に引っかかり」＝髪の毛は彼のプライドの象徴であった

18:21 ヨアブはクシュ人に言った。「行って、あなたの見たことを王に告げよ。」クシュ人はヨアブに礼をして、走り去った。

礼をして＝シャハー◀ 7812. shachah (𐤑𐤍𐤔) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

2 Samuel 18:21 (NAS) (KJV) (INT) \*bow (改4) 礼をして

18:28 アヒマアツは王に「平安がありますように」と叫んで、地にひれ伏して、王に礼をした。彼は言った。「あなたの神、【主】がほめたたえられますように。主は、王様に手向かった者どもを引き渡してくださいました。」

ひれ伏して、王に礼をした＝シャハー◀ 7812. shachah (𐤑𐤍𐤔) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) prostrated himself (KJV) fell down (INT) prostrated (改4)ひれ伏して

ほめたたえられますように＝バラク◀ 1288. (𐤁𐤓𐤕)barak 330回▶ 祝福する 316回(英)の内 74回ほめる(改4)。

(NAS) Blessed (KJV) Thanked (INT)Blessed (改4)ほめたたえる

19:39 こうして、民はみなヨルダン川を渡り、王も渡った。王はバルジライに別れの口づけをして、彼を祝福した。それで、バルジライは自分の町へ帰っ

て行った。

祝福する＝バラク・ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)

21:1 ダビデの時代に、三年間引き続いて飢饉が起こった。それで、ダビデは【主】の御顔を求めた。【主】は言われた。「サウルとその一族に、血の責任がある。彼がギブオン人たちを殺戮したからだ。」

ギブオン人たちを殺戮した＝熱心のあまり、同盟者も殺した

21:2 王はギブオン人たちを呼び出し、彼らに話した。このギブオンの人たちは、イスラエル人ではなくアモリ人の生き残りで、イスラエル人は彼らと盟約を結んでいた。だが、サウルはイスラエルとユダの人々への熱心のあまり、彼らを討とうとしたのである。

@彼らと盟約を結んでいた＝400年経った間違った契約でも有効である。

@エリコの戦いは BC 1455 年ごろ

(ヨシュア 9 : 19) ギブオン人を殺してはならない。

21:3 ダビデはギブオン人たちに言った。「あなたがたのために、私は何をすべきであろうか。私が何をもちて宥めを行ったら、【主】のゆずりの地が祝福されるだろうか。」

祝福する＝バラク・ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)

21:5 彼らは王に言った。「私たちが絶ち滅ぼそうとした者、私たちを根絶やしにしてイスラエルの領土のどこにも、いさせないように企んだ者、

21:6 その者の息子の七人を私たちに引き渡してください。私たちは【主】が選ばれたサウルのギブアで、【主】のために彼らをさらし者にします。」王は言った。「引き渡そう。」

21:14 彼らはサウルとその息子ヨナタンの骨を、ベニヤミンの地のツェラにあるサウルの父キシユの墓に葬り、すべて王が命じたとおりにした。その後、神はこの国の祈りに心を動かされた。

21:19 ゴブでペリシテ人との戦いが再びあったとき、ベツレヘム人ヤイルの子エルハナンは、ガテ人ゴリヤテを打ち殺した。ゴリヤテの槍の柄は、機織りの巻き棒のようであった。

@(改4)ゴリヤテ =(改2)ゴリヤテの兄弟ラフミ

=ただし(NAS)(KJV)(INT)(共)などは全てゴリヤ

テ

@ それでも、1歴代誌20:5は全ての訳で「ゴリヤテの兄弟ラフミ」となっている。

IIサム 22:4 ほめたたえられる方、この【主】を呼び求めると、私は敵から救われる。

ほめたたえ==ハラル◀ 1984. halal (הלל)165回▶(源)輝く(訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

22:12 闇をご自分の周りで仮庵とされた。水の集まり、濃い雲を。(改4)

仮庵= 複数形

仮庵と言う翻訳は適切ではないかもしれない。

(改2)主は、やみを回りに置かれた。仮庵は水の集まりと、濃い雲。

(KJV) And he made darkness pavilions round about him,

22:40 あなたは、戦いのために私に力を帯びさせ、向かい立つ者を、私のもとにひれ伏させました。

ひれ伏させ=カラ◀ 3766.( קרע ) kara 36 回▶ ひざまづく (現へ) ひざまづく

(NAS)(KJV) subdued under (INT) subdued rose under (改 4)ひれ伏させ

22:47 【主】は生きておられる。ほむべきかな、わが岩。あがむべきかな、わが救いの岩なる神。

ほむべきかな=バラク◀ 1288. ( בָּרַךְ ) barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる、ひざまづく

(NAS)(KJV)(INT)Blessed (改 4)ほめたたえる

あがむべきかな = ◀ 7311.( רוּם ) rum 189 回▶ to be high or exalted, rise  
=意味的には、高くあげる

22:50 それゆえ、【主】よ、私は国々の間であなたをほめたたえます。あなたの御名をほめ歌います。

ほめたたえ=オウドカ◀ 3034. yadah( יָדָה ) 114 回▶ 感謝する 67 回、賛美する 19 回、告白 16 回、

(NAS) (KJV): give thanks ★

ほめ歌います=ほめ歌を歌う=◀ 2167. zamar ( זָמַר ) 46 回▶ 賛美を歌う

23:1 これはダビデの最後のことばである。エッサイの子ダビデの告げたことば。いと高き方によって上げられた者、ヤコブの神に油注がれた者の告げたことば。イスラエルの歌の歌い手。

告げた = ◀ 5002. neum 376 回 ▶ 宣言する、声を上げる

Definition: utterance

上げられた者 = (へ) 高く上げられた者

歌の = ◀ 5273. na'iyim ▶ 麗しい Definition: pleasant, delightful

(改 4)イスラエルの歌の歌い手 = (KJV) the sweet psalmist of Israe、

= (改 2) イスラエルの麗しい歌

23:2 「**【主】**の霊は私を通して語り、そのことばは私の舌の上にある。

御霊によって語る歌は麗しい

神が覚えたダビデの第一の業績は賛美礼拝

23:11 彼の次はアラル人アゲの子シャンマ。ペリシテ人が隊をなして集まったとき、そこにはレンズ豆が**豊かに実った**一つの畑があった。兵はペリシテ人の前から逃げたが、

23:12 彼はその畑の真ん中に踏みとどまってこれを守り、ペリシテ人を討った。

**【主】**は大勝利をもたらされた。

豊かに実った = (改 2)密生した = (へ) ◀ 4392. male ▶ いっぱい Full  
レンズ豆 = (1 歴代 11:13) 大麦

@彼が守ろうとしたものは取るに足らないもの(レンズまめ)のようだったが、結果的には大勝利をイスラエルに与えることになった。

@自分に与えられた小さいものを守るのに忠実だった。

@ 1 歴 11:13 彼がダビデとともにパス・ダミムにいたとき、ペリシテ人が戦うためにそこに集まった。そこには、大麦が豊かに実った畑があった。兵はペリシテ人の前から逃げ



たが、

11:14 彼らはその畑の真ん中に踏みとどまってこれを守り、ペリシテ人を討った。【主】は大勝利をもって救われた。

23:16 三人の勇士はペリシテ人の陣営を突き破って、ベツレヘムの門にある井戸から水を汲み、それを携えてダビデのところに持って来た。しかしダビデはそれを飲もうとはせず、それを【主】の前に注いで、

24:1 さて、再び【主】の怒りがイスラエルに対して燃え上がり、ダビデをそのかして、彼らに向かわせた。「さあ、イスラエルとユダの人口を数えよ」と。

そそのかして = ◀ 5496. suth ▶ 扇動する、誘惑する  
=(改2) ダビデを動かして

24:10 ダビデは、民を数えた後で、良心のとがめを感じた。ダビデは【主】に言った。「私は、このようなことをし

24:17 ダビデは、民を打っている御使いを見たとき、【主】に言った。「ご覧ください。この私に罪があるのです。私が悪いことをしたのです。この羊の群れがいったい何をしたのでしょうか。どうか、あなたの御手が、私と私の父の家に下りますように。」

@御使いを見たが、主に語りかけた。

ギデオン 6:13 ギデオンは御使いに言った。「ああ、主よ。もし【主】が私たちとともにおられるなら、なぜこれらすべてのことが、私たちに起こったのですか。『【主】は私たちをエジプトから上らせたではないか』と言って、先祖が伝えたあの驚くべきみわざはみな、どこにあるのですか。今、【主】は私たちを捨てて、ミディアン人の手に渡されたのです。」

24:20 アラウナが見下ろすと、王とその家来たちが自分の方に進んで来るのが見えた。アラウナは出て行き、地にひれ伏して、王に**礼をした**。

(NAS) (KJV) (INT) \*bow (改 4) 礼をした

@エブス人はダビデが征服したエルサレムの地の先住民族

24:24 しかし王はアラウナに言った。「いや、私は代金を払って、あなたから買いたい。費用もかけずに、私の神、【主】に全焼のささげ物を献げたくはない。」そしてダビデは、打ち場と牛を銀五十シェケルで買った。

時代が違うし、面積がわからないので何とも言えませんが、悔い改めをしたい王様が「費用をかけずに捧げものをしたくはない」というぐらいだから、相当の金額だったと思います。それでも銀50シェケルですから。

アブラハムが払った金額は少なくとも1千万円、多ければ5千万円ぐらいだったと思います。

24:25 ダビデは、そこに【主】のために祭壇を築き、全焼のささげ物と交わりのいけにえを献げた。【主】が、この国のための祈りに心を動かされたので、イスラエルへの主の罰は終わった。